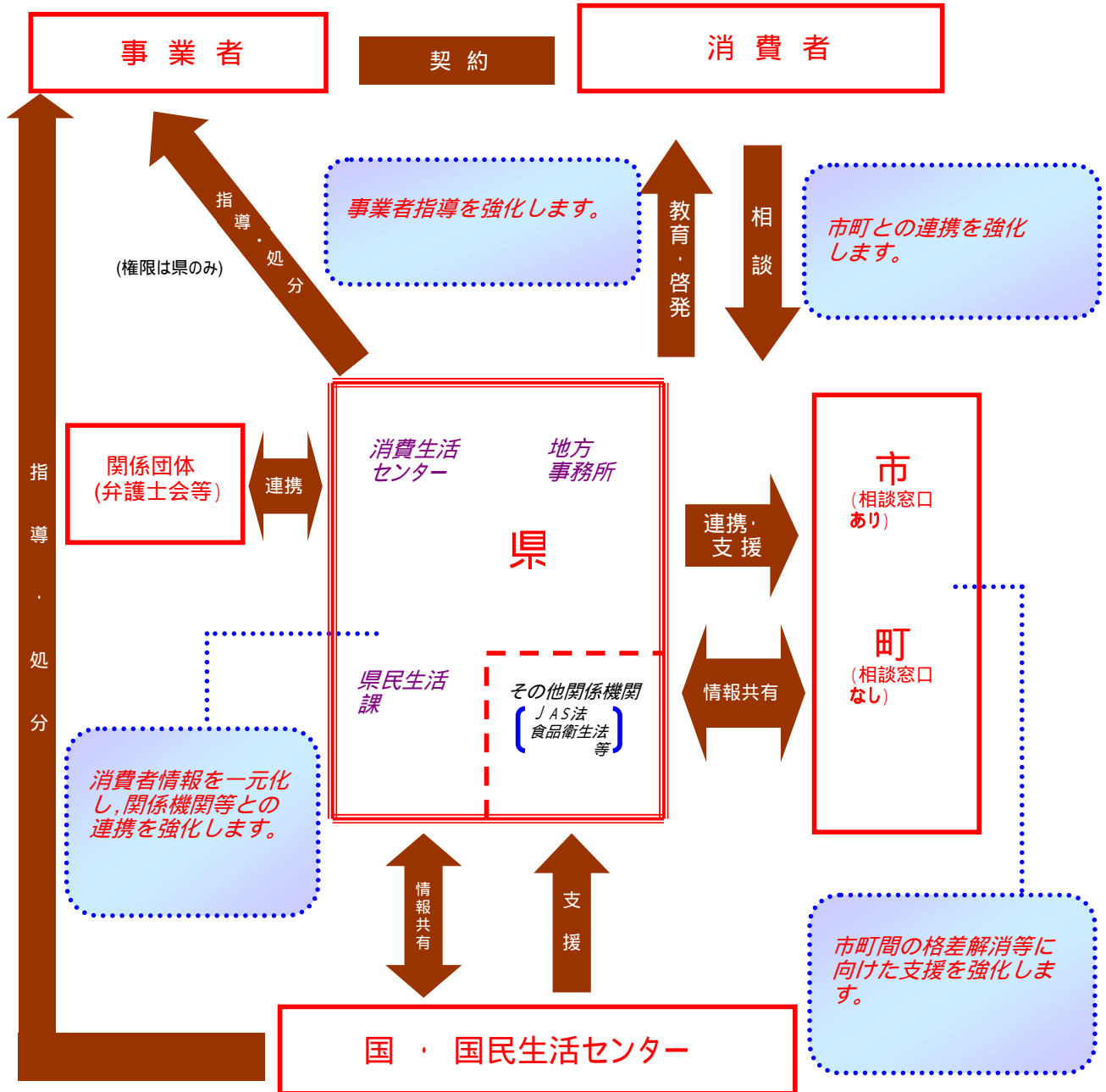


生活者の視点に立った消費者行政を展開します！

資一県文1
県民生活課
内線3412

消費生活センター運営費：予算額38,300千円



ここがポイント！

教育・啓発、トラブルの防止・救済に関する取り組みを強化し、複雑・多様化する消費者トラブルへの対応力を向上することで、消費者の自立を促し、県民の安全安心を守ります。



「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の推進に向けて取り組みます!

資 - 県文2

男女共同参画課
内線 3070

- だれもが、人生の中で起こり得る様々な事情にかかわらず、仕事、家庭生活、地域生活、自己啓発などの活動を、自ら希望するバランスで実現できる社会へ -

1 「仕事と生活の調和推進キャンペーン」事業概要

【予算額 2,009千円】

平成21年度から平成22年度までの2年間で「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進キャンペーン」期間として、10月を推進月間と位置づけ「仕事と生活の調和推進キャンペーン」事業を推進し、仕事と生活の調和への理解を進め、実践につながるよう気運の醸成につなげます。

2 全体イメージ

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が実現された社会へ

社会にとって

男女共同参画社会の実現
人口減少に歯止め
雇用創出、産業の活性化
地域活動への参加による地域活性化
様々な人の能力発揮

企業にとって

多様で有能な人材が確保、定着
業務の見直し等で生産性が向上
働く人のやる気がアップ
企業の業績アップで経済の活性化
企業のイメージアップ

個人にとって

就労による経済的自立が可能
健康で豊かな生活
多様な働き方・生き方の選択が可能
家族との団らんの増加
育児や介護との両立が可能

取組気運の醸成、仕事と生活の調和实践の広がり

総合窓口【男女共同参画課】

「仕事と生活の調和推進キャンペーン」事業

実践!

“やってみよう・変えてみよう”事業

企業、団体、個人等ができる取組を登録して実践
実践された取組から啓発資料を作成し、啓発および取組の広がり活用

協働!

“見せよう・広めよう”事業

事業者、大学、NPO等の持つ資源、ノウハウを活かした啓発事業の企画
アイデアを募集し、実施を委託

連携

経済、労働団体

フォーラム、研究会開催
会員企業 広く一般へ
団体広報誌等による広報
会員企業 広く一般へ
CSRとしての意識付け
滋賀の経済の活性化

支援

参画

連携

地域団体

企業支援
暮らしの“わ”・“安心”づくり

【滋賀県関係各課の取組】

子育て三方よし施策の展開(子ども・青少年局)
WLB企業応援事業(労政能力開発課)
企業内家庭教育促進事業(生涯学習課)
県庁内組織のWLBの率先実践(人事課)

【市町】

市町におけるWLBの率先実践
保育・介護等の社会基盤整備

【国】

法整備等環境整備
【滋賀労働局】
次世代育成支援対策の推進
均等・両立推進企業の表彰

取組の見える化

～県民、事業者への働きかけ・支援～

仕事と生活の調和推進会議が

経済、労働団体
行政(国、県、市町)
地域団体(NPO、団体)



- 1 多様な働き方を可能にしよう
- 2 ゆとりとやる気を生み出そう
- 3 社会で子育てを支えよう
- 4 多様な生き方を尊重しよう

「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の促進」は、県男女共同参画計画の重点取組テーマです。仕事と生活の調和を実現することが、だれもが生き生きと輝いて暮らせる男女共同参画社会につながります。

協働提案制度がスタートします！！

予算額 359千円

県民、地域団体、NPO、企業等の多様な主体と行政がともに地域を支え合う協働型の社会づくりをめざし、地域の諸課題やニーズに対応できるよう、多様な主体からの協働提案に基づき、双方の特性などを組み合わせながら、ともに公共政策を作り上げていく「協働提案制度」を創設します。

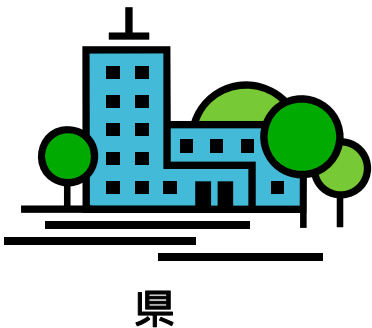
応募型事業、創造型事業の2類型について実施する予定です。

応募型事業・・・県がテーマを提示して募集するものです

創造型事業・・・自由な発想で提案していただくものです



協働提案制度のイメージ



県



募集

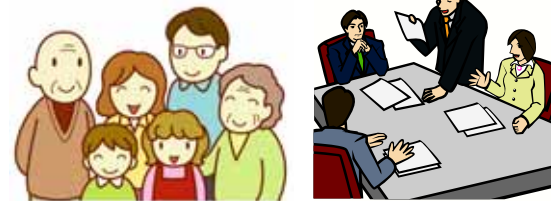


NPO 地域団体

大学

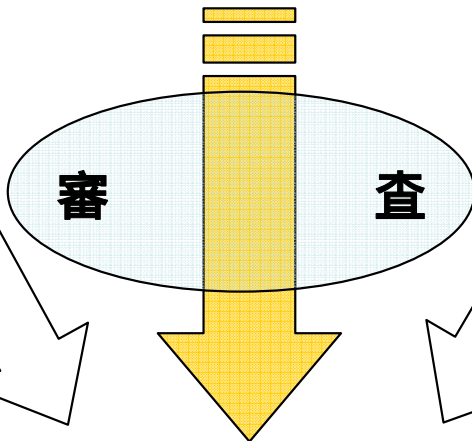


提案



県民

企業



審

査

委託、補助、
後援、広報
など

アイデア、労力
ノウハウ など

協働事業の実施

次世代文化芸術推進事業

【予算額 9,800千円】

～しが次世代文化芸術推進委員会運営費補助金～

しが次世代文化芸術推進委員会

委員長：（財）滋賀県文化振興事業団理事長
 副委員長（兼）センター長：有識者
 委員：25名以内（文化施設、教育関係者、大学関係者、芸術家、NPO、企業関係者、文化行政関係者など）
 事務局：（財）滋賀県文化振興事業団

協働

次世代文化芸術推進方策検討等

次世代の文化芸術体験を推進する仕組みや方策に係る検討、センター事業の検証など

しが文化芸術学習支援センター

センター長（兼）副委員長
 トータルコーディネーター
 コーディネーター アシスタント など

研究

連携研究会

委員会の趣旨に賛同し、センターの事業において連携・実践している関係者による研究会（NPO、ボランティア、教員（幼、小、中、高等学校）、文化施設関係者、教育行政関係者、文化行政関係者など）
 連携授業の内容の検討・実践など

育成

文化ボランティア研修

社会人・大学生等のボランティアの登録・文化ボランティアの養成・研修会の実施
 文化ボランティアコーディネーターの養成・研修会の実施
 文化施設・大学と連携した実践的な研修 など

体験

連携授業

学校が希望する学習内容に合った文化施設・芸術家と学校のコーディネート
 連携授業の検討・実施
 ニーズや連携授業内容の整理
 プログラム集の編集・発行
 ボランティアのとりまとめ、派遣
 文化施設・学校と協働で体験プログラムの開発・実践 など

発信

子ども文化芸術祭

連携授業による子どもの成果発表の場としての作品展等の開催
 次世代への文化芸術支援を推進する県民の気運を醸成することを目的とした芸術鑑賞、子ども向け文化芸術体験プログラムや文化ボランティア活動の紹介など（連携協力関係者と協働で企画・運営）

連携・協働

連携・協働事業

県内文化施設・芸術家・企業・大学・NPO等との連携・協働の推進
 子ども文化芸術関連事業における連携・協働の推進

学校・文化団体・地域・住民等

文化施設・アートNPO・芸術家等

連携・協働

県生涯学習課 「地域の力を学校へ」 推進事業

地域の人や企業・団体・NPOが学習を支援する仕組みとして、教育委員会に相談のあった文化芸術体験について連携し支援

県学校教育課 滋賀の教師塾

県内の公立小・中学校の教員を目指す学生達がセンターのボランティアに登録し、選択研修として連携授業の現場に参加

企業との連携

企業の文化芸術支援事業との協働

滋賀県芸術文化祭

子どもを対象とした参加事業等

びわ湖ホール

教育普及事業で連携

県内文化施設

県内文化施設（県立・市町立、私立）と教育普及事業で連携

近代美術館

教育普及事業で連携（開館25周年を契機に、中期経営計画に基づき教育普及活動を積極的に実施）

琵琶湖博物館

教育普及事業で連携

しが県民芸術創造館 文化産業交流会館

次世代文化芸術推進事業文化ホール系体験プログラム

希望が丘文化公園

子どもを対象とした自然体験事業など

開館25周年！

2009年度 滋賀県立近代美術館の取り組み

近代美術館は開館25周年を迎えます。これを記念して、開館以来3つの収集方針（日本美術院を中心とした近代日本画、郷土にゆかりのある美術、戦後アメリカと日本を中心とした現代美術）に基づき収集してきた収蔵品の中から、選りすぐりの作品を3つのテーマ毎に紹介する「collection+」シリーズ展や、大正時代の日本美術院に焦点をあてた「大正期、再興院展の若く青き日々」展など、充実したラインナップの展覧会を開催します。

企画展一覽

友禅人間国宝 森口華弘・邦彦 親子二代展

4月25日(土) -
5月31日(日)

開催日数: 32日

守山市出身の友禅作家・森口華弘(1909~2008)と、その子息である森口邦彦(1941~)は、ともに京友禅の人間国宝として独自の芸術を切り拓いた巨匠である。華弘の生誕100周年を記念して開催する、親子二代の回顧展。

開館25周年記念 collection+ 百花繚乱 郷土美術 - 工芸と洋画 -

6月13日(土) -
7月12日(日)

開催日数: 26日

当館の開館25周年を記念して行う、所蔵名品展の第1弾。古くからの伝統に裏付けられた郷土滋賀の工芸作品と、滋賀の風景を愛し続けた野口謙蔵の風土派と呼ばれる油彩画の魅力を紹介。県内に残された国宝・重文の数々も展示。

開館25周年記念 collection+ アメリカン・ハイ! アメリカ美術の20世紀 - あの時すべてが輝いていた -

7月18日(土) -
8月30日(日)

開催日数: 38日

当館の開館25周年を記念して行う、所蔵名品展の第2弾。国立国際美術館(大阪市)の協力を得て当館の作品を補完し、戦後アメリカ美術を代表するアーティストたちの作品を一堂のもとに展示し、それぞれの魅力を探る。

~ 青郁・靱彦・御舟 ~ 大正期、再興 院展の若く青き日々

9月12日(土) -
10月25日(月)

開催日数: 38日

当館の作品収集方針の軸である(日本美術院)の、青春期とも言える大正時代に焦点を当て、再興院展出品作を中心に、日本絵画史上きらめく光彩を放った唯一無二の時代を名作でたどる。開館25周年を記念して開催。

開館25周年記念 collection+ 伝統と革新 - 日本画の時代 -

10月31日(土) -
11月23日(月)

開催日数: 21日

当館の開館25周年を記念して行う、所蔵名品展の第3弾。小倉遊亀をはじめ、日本美術院の作家の大作や、滋賀県出身の大家である岸竹堂や山元春拳の作品、近代以前の古美術なども含めて日本画の魅力を紹介。

シュウソウ・アツチ ・ガリバー展

2月27日(土) -
3月31日(水)

開催日数: 28日

大津市出身の現代作家、シュウソウ・アツチ・ガリバー(本名・安土修三、1947~)の回顧展。60年代にヒッピーとして社会の注目を集め、70年代以降は自分の肉体に言及しつつ精力的に制作を続ける彼の芸術を総合的に紹介。

~ 広く美術に親しんでいただくために ~ 教育普及事業を強化します

< 創作学習(活動)への支援 >

子ども向けワークショップ「たいけんびじゅつかん」、「びっくりミュージアム」等の充実
ワークショップに最適な環境の整備

< 若手芸術家の育成 >

ミニギャラリーを新設(H20年)し、若手芸術家の作品発表の場として提供

< 美術への理解の促進 >

開館25周年記念連続講演会

収蔵品にちなんだ講演会や対談、滋賀の美術文化の未来を語るパネルディスカッションなどを予定

美術館講座、講演会、ギャラリートーク等の拡充
美術入門の展覧会の開催(「夏休み子ども美術館」)
企画展示や常設展示に対応したセルフガイドやワークシートの配布

< 博学連携・学校連携の強化 >

成安造形大学

【基本協定を締結】

- ・ 調査研究や活動への協力を得る
- ・ 教育活動に必要な機会の提供

近隣大学からのインターン受け入れ
アウトリーチ(館外活動)の拡充
学校連携に基づく授業プログラムの普及
美術鑑賞教材「アートゲーム・ボックス」の学校貸出

兵庫県立美術館

【基本協定を締結】

- ・ 学芸員の交流
- ・ 展覧会の共同開催・共同研究
- ・ 所蔵品の相互活用
- ・ ボランティアの交流

地域情報の提供サービスが始まります！

【予算額12,293千円】

資 - 県文 5

情報政策課

内線 3 3 8 0

放送事業者と連携して地上デジタル放送のデータ放送の活用、さらには携帯電話のe-mailを活用して、防災関連の緊急情報等を迅速かつ広く県民の皆さんに提供します。これにより、県民自らの安全と予防行動を促し、県民の生命や財産を守ることに寄与します。

